

六時礼讃

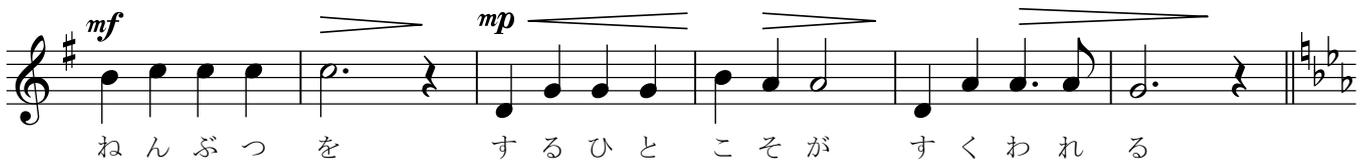
三尊礼より 「阿弥陀仏観」

原口弘之 訳詞
宇野光達 作曲
鈴木一真

Adagio (♩=75)



Più mosso (♩=80)



f *mp rit.*

さとりへのねがいとしゅぎょうがみをむすぶ

Tempo I (♩=75) *p* *mp* *p*

われらみなごくらくじょうどにいけますように

六時礼讃

～ 三尊礼より「阿弥陀仏観」～

原口弘之 宇野光達 訳詞

ころから ^{あが}崇める 西方 阿弥陀^{ぶつ}仏
 阿弥陀^{ぶつ}仏は まばゆい ^{きん}金の 山のよう
 放たれる 光はあらゆる 世を照らす
 念仏を する人こそが 救われる
 阿弥陀^{ぶつ}仏の 願いに勝る ものではない
 あまたいる 如来が舌を のばし 説く
 念仏で 西の浄土に 生まれると
 浄土では ^{はす}蓮が開いて 法を聞く
 さとりへの 願いと修行が 実を結ぶ
 われら皆 極楽浄土に 往けますように